

(別紙2)

令和6年度離島漁業再生事業交付金漁業集落实績報告

令和7年4月22日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：長崎県

市町村名：松浦市

島名：青島

協定対象漁業集落名：青島集落

協定参加世帯数： 67世帯（97人）

（うち漁業世帯数：33世帯（54人））

2. 協定締結の経緯

漁業者の減少や高齢化が進んでいる現状にあって、このまま放置すれば、島の漁業は一層衰退し、水産業・漁村における多面的機能も失われていく課題を抱えているため、平均漁業所得を向上させ、漁業就業者数を維持することを目指して、関係者が一致協力して、離島漁業再生事業交付金による漁場の生産力の向上に関する取組と漁業の再生に関する実践的な取組を実施することとした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

水産資源の減少という状況のため、クロアワビ10,000個、メガイアワビ12,000個、カサゴ2,500尾、クエ1,300尾を放流して資源の回復を図ることとした。

また、藻場資源の減少という状況のため、ガンガゼ・ムラサキウニ計181,800個の駆除、ウミトラノオ360kgの除去、貝藻くんを新たに10基投入、クロメ種糸を100m投入するとともに、これまで投入した貝藻くんの追跡調査を実施して藻場の現状把握と回復を図ることとした。

また、産卵場所が減少しているという状況を踏まえ、アオリイカ資源の増大を図るため、アオリイカ産卵床（人工産卵床）を新たに5基投入し、タコ資源の増大を図るため、タコ産卵つぼを433個投入した。

また、密漁、違反操業の防止対策が図られていないという状況のため、沿岸海域の監視活動を実施して漁場の操業秩序の維持を図ることとした。

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

加工品の食品検査・保存試験を行ったことにより、特産品の品質向上に取り組んだ。

また、販路の拡大が望まれている状況であるため、青島かまぼこのラベルを作成し、今後の販売とPRに寄与することとした。また、市主催の藻場保全・ブルーカーボンに関する学習会に参加し、今後の磯焼け対策に関する情報収集を行った。

4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 1,090千円 ※1

漁業集落漁業就業者数 25人 ※2

クロアワビ10,000個、メガイアワビ12,000個、カサゴ2,500尾、クエ1,300尾を放流したことにより、水産資源の回復の向上が図られた。

また、ガンガゼ・ムラサキウニ計181,800個の駆除、ウミトラノオ360kgの除去、貝藻くんを新たに10基投入、クロメ種糸100m投入するとともに、これまで投入した貝藻くんの追跡調査を行ったことにより、藻場の現状把握と回復の向上が図られた。

また、アオリイカ産卵床（人工産卵床）を新たに5基投入し、タコ資源の増大を図るため、タ

コ産卵つぼを 433 個投入したことにより産卵場所の増大が図られた。

また、沿岸海域の監視活動を実施したことにより、漁場の操業秩序の維持を図ることができた。

また、加工品の食品検査・保存試験を行ったことにより、新たな特産品の開発と、販売を行うことが可能になった。

また、青島かまぼこのラベルを作成し、今後の販売と PR に寄与することができた。

また、市主催の藻場保全・ブルーカーボンに関する学習会に参加し、今後の磯焼け対策に関する知見を得ることができた。

※1 及び※2 の記載は必須とする。交付金交付対象漁業者所得とは、交付金交付対象世帯の 1 人あたりの所得を平均したもの。

(注) 3 及び 4 については、主な取組について写真や数字、グラフ、図などを用いて具体的なイメージが持てるようにすることとする。

令和6年度 離島漁業再生事業交付金（松浦市）

（青島集落）

1) 漁場の生産力の向上に関する取組状況

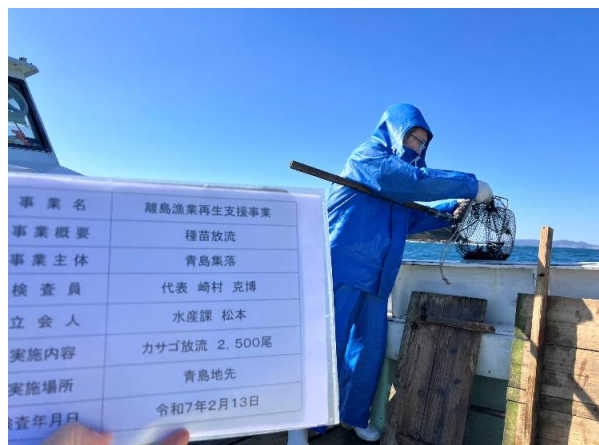
種苗放流

クロアワビ・メガイアワビ放流



漁業の管理・改善

カサゴ放流



漁業の管理・改善

ガンガゼ駆除



漁業の管理・改善

磯洗い



漁業の管理・改善

貝藻くん投入



貝藻くん追跡調査



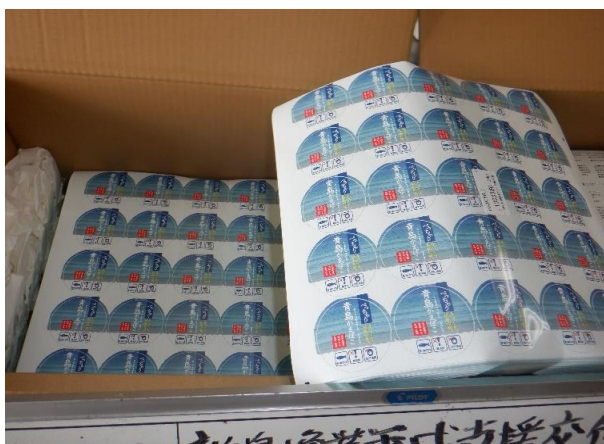
産卵場・育成場の整備

イカ産卵床投入



2) 漁業の再生に関する実践的な取組状況
販路拡大

青島かまぼこラベル作成



産卵場・育成場の整備

タコ産卵つぼ投入



その他

藻場保全・ブルーカーボンに関する学習会

